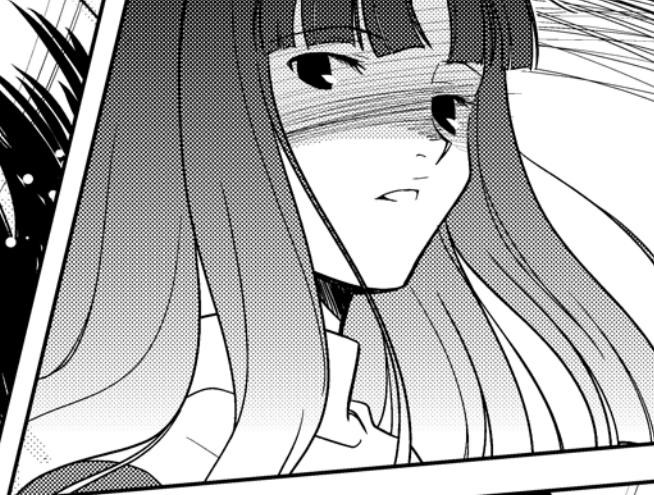
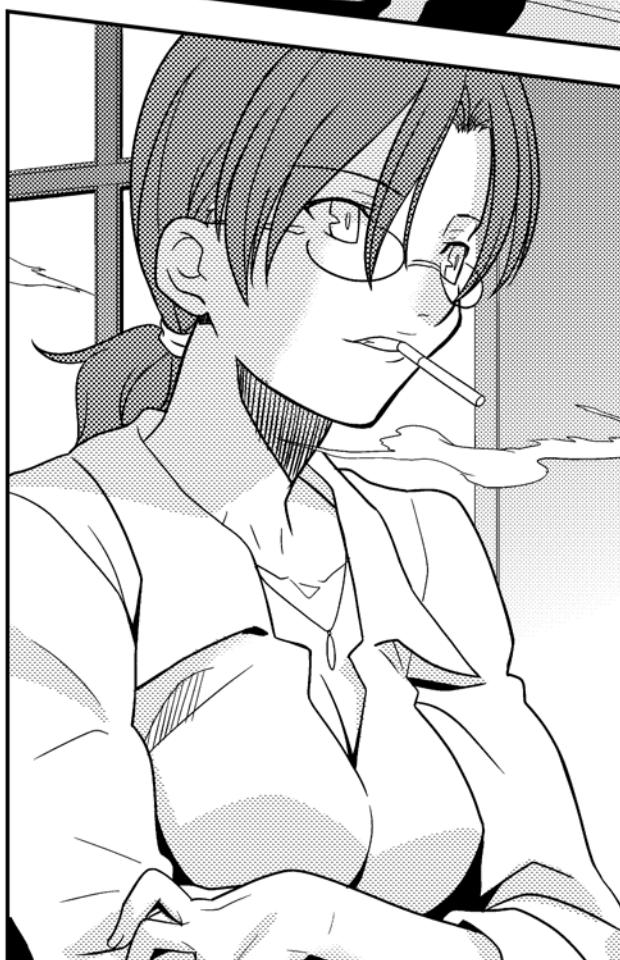




空の境界 未来雜音
the Garden of sinners / mobius noise



空の境界 未来雑音 the Garden of sinners / mobius noise



武内崇（以下武内）：さてはて。それじゃ対談でも始めるっしゃかね

奈須きのこ（以下奈須）：よらばシナイデン！

武内：えー、まずは8年ぶり？コミケに参加した理由からばちばちど。

奈須：自分は祖父の遺言で。地下室にロボットとチケットがあつてさあ。「世界を手玉にとるがよい！」って血文字で。

武内：…

奈須：……いや、待ってくれ。そもそもここでは紳士でいるべきなのか、コンパイル状態でいるべきなのか、空気読めてないんだ。教えてください。

（コンパイル→のーみそこねこね状態の意）

武内：コンパイルで良いんだけどさ

奈須：よーし、ひゃっはー！

武内：まー、一応空の境界という作品に対し、自分たちがもう一度コミケという原点で出来ること、コミケでしか出来ないことがあるんじゃないかという思いからだったわけですが

奈須：ほうほう

武内：やれたかのう、俺たち

奈須：なにか意義があればいいですね——

武内：やたら考えて、無難に纏めたな（^_^）

奈須：いや、なに言ってもまだ未来の話だもの。

武内：ま、そだね

奈須：そんな感じで、必死にコミケ当日のヴィジョンから目をそらすきのこであった。だって暑いの目に見えてるじゃん！

武内：コミケといえばさあ、去年のサンダル事件は、鮮烈だったね。伝説だね。

奈須：サンダルの事は言うな！

武内：コミケ舐めすぎだね。あんなサンダルでコミケ三日目にきちゃいかんよ。サンダルかたっぽ無くて戻ってきた姿をみて、驚いたもの

奈須：なんか可哀想な人がやってきた！って目でみやがって！（涙 わたしやあの時ほど自分の軽率さを呪った日はなかった。

武内：すばんすばんすぱーんとサンダルが蹴飛ばされてあっという間に視界から消えたつづけ解説には笑ったけどな

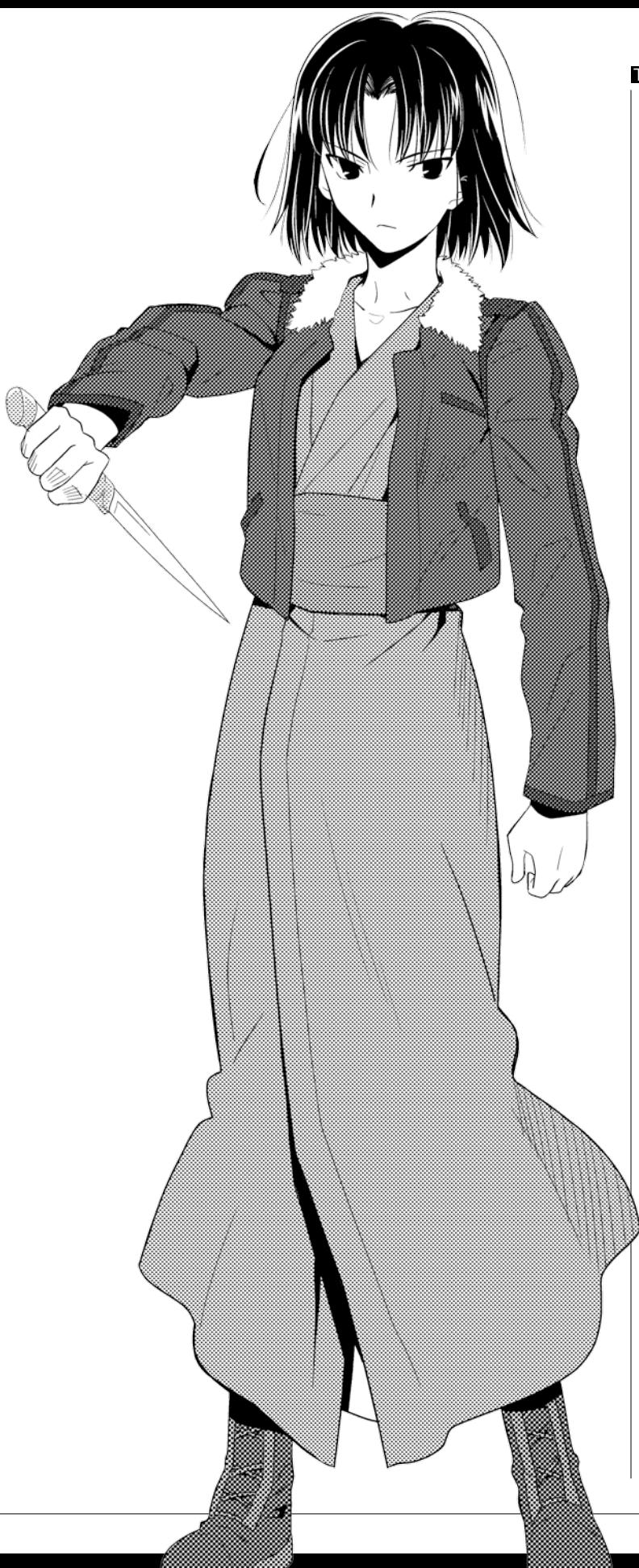
奈須：ほんとにそうだったんだ～。こうね、王蟲の群れみたいな人たちが現れて、「たいへんだなあ」と思っていたら、サンダルごと片足とられて、サンダルはピンボールのようにスパンスパンと群衆に飲まれていって……その間わずか二秒。洗練された一流サッカー選手たちの高速バスみたいに。こう、イナズマめいて消えていく俺のサンダル。

武内：つくづく漫画みたいな奴だなあ、おまえさん

奈須：のこされた裸足の俺。短パンに片足はだしの俺。われ泣き濡れてカニとたわむる。

武内：あの姿は、ちょっとないな、って感じだったねえ

奈須：原人だよ原人！どこまでプリティイイなんだ



よって話だよ、クソ!

奈須：結局医務室いって、スリッパもらったんだ。
百円ぐらいの。それ最後まで履いてた。メチャクチャ足いたかった。

武内：泣ける（笑）

奈須：あのサンダルはね、Fate 発売記念の社員旅行先で買った思い出深い、（どうでも）いいものだったのに……

武内：そりゃちょっと悲しい

奈須：いや、そろそろ捨てようと思ってたからそこはいい。単に裸足でぽつんと東館の真ん中に立ちつくした記憶が寒すぎる。

武内：痛すぎる。そういうやさ、今回久しぶりにコミケ申込書書いた訳だけど、自分が一番注目しているサークルを書くところ、あそこいつも迷う。

奈須：ああ、懐かしいですねそれ。なんか緊張するんだよね。誰も見ちゃいねーてのにな!

武内：スタッフさんは見るわけじゃん。なかなか本音は書きにくい。ハズイし。

奈須：コミケスタッフ内には占いどころがあって、いずれくる壁サークルにそなえてんのかもしれないですね。ところで、コミケで初心に戻るのもいいけど、新作は進んでるのんー？

武内：進んでますとも！多分

奈須：マッハGOGOGOなみにすすんですよ!
たぶん!

武内： そういえばスピードレーサー、上映終わってしまったっす。面白かったらしいじゃん

奈須：あ、スピードレーサーは名作ですよ。今回の本で、最後の短編書く前に見て勇気づけられた。『我々がレースを変えるのではない。レースが我々を変えるのだ。』

あの台詞は汎用性高すぎる。レーサーXはストイックでいいです。マトリックスがダメで敬遠してる人は見るべき。ちゃんとした映画作れるじゃないか!と驚くから。というか、今年、名作多くね?

武内：名作多いね。あと、ダークナイトは本当にごめんねえ

奈須：ウロブチさんと鋼屋くんと東出くんとタカヒロくんとかわぎしさんとつくりさんとこやまさんと、

武内：すまぬ。まさか別の映画館のチケットを予約してしまうとは…

奈須：ならば良し！さあ水晶を探しに行くぞ！
武内：そっ曹操さまー！（惚）ていうかさ、久しぶり

に空の境界書いてみてどーでしたか
奈須：どうもこうも……そういうの聞かれるのは、困る。

武内：いやあ、一応触れて置かないと

奈須：……むう。そうですね。唯一言えるのは、瀬尾は書いてて楽しかった。月姫の本当のルートはアキラルートではあるまいかと思うほど。





奈須：あやうくツラヌイになりかけたけど、そこは必死にハンドル修正した。

武内：ツラヌイかー。そりやあマズイねえ

奈須：つうかいお天気女学生小説になってしまうのです。まあ、あれでツラヌイは怖いというか、ほら、真犯人っぽい役回りだから……(ばそっ

早く書きかけよ。……と、つっこまれるのを期待している。ワクワク。ともあれ楽しかったですよ。まさかこの荷物を届けられるとは思っていなかっただし。荷物→おろし損ねたまま、船倉に睡っていたなんか、みたいな。

武内：俺も久しぶりに漫画描けて、結構楽しかったぜ

奈須：お互い「やんなきゃ良かった！」って悲鳴あげてたのにネ！

武内：月姫の頃からかわらんね

奈須：変わらぬ。永遠にロリなまま。

武内：ロリとかいうな。しかし空の境界、矛盾螺旋の公開日とコミケ参加日が同じっていうのも、運命的なものを感じるのう

奈須：運命っていうか、因縁っていうか……空の境界をコンプリートしてくださる諸兄には地獄のような一日じゃろうて……ごめんなさい！(全力で土下座)

武内：そうね。こんなことになるなんて思わなかつたんじゃよー

奈須：去年の冬の段階では、夏で完結している予定だったんだよ。ホントだよ。(劇場版 忘れもしない 12月30日。空の境界・二章・殺人考察(前)の公開初日。その打ち上げの席でさ、武内が言い出すのよ。「夏コミは映画の終了にあわせて、コミケに一般参加しないか?」と。

武内：うひ

奈須：酒の力もあったんだろうなー。「うん、それは楽しそうだ」とモニモニとビザ食べながらうなづく俺。いざ六月中盤になって、「やっぱ、もう六月じゃん」とあせる我々。

武内：そーね。つくりものじには褒められたよ。まだそんな野心があつたんですかって

奈須：ものじさんは仙人だから。もうその手のデザイアからは解き放たれてるのよ。

奈須：あの方は今日もヴィヴィアンとハムハムする毎日さ～♪ というか普通さ、コミケの入稿は一週間前とか二週間前でしょ!? なんで一ヶ月前なの!? バカなの!? 死ぬの!?

武内：そんなに異常でもないけどな。あと、本の装丁の所為なり。デザイナーさんが頑張ってくれたお陰で、素晴らしい本になりました

奈須：だが やりすぎたっ!

武内：原価が恐ろしいことにッ!

奈須：ききたくねー!

武内：そうね。言いません。スタッフみんなで、一生懸命同人誌作ったって感じです

奈須：武内くんはあとタスクオーナさんたちにお礼言つておきなさい。

武内：クソありがとうございますッ!

奈須：クソご迷惑おかけしましたッ!

武内：今回、なれない漫画作業をタスクオーナさんとそのスタッフの皆さんにお手伝いして頂きました。担当 10 ページのはずが、結局全ページをお願いすることに。

奈須：おおー。俺も 80 ページ受け持ちはずが、なぜか 140 ページに……なんでだ?

武内：それがきのこクオリティ。こんだけ付き合い長いけど、予定よりも少ない枚数で収まったこと、見たことないし

奈須：ははははは。そんなことよりうちの妹の話しようぜ!

武内：昔ルーズリーフ 10 ページぐらいで漫画の原作書いてってお願いいたら、100 ページになったことが…

奈須：不思議ですね。

武内：ですね

奈須：エターナルキノコブリザード！ たかしは死ぬ。……このネタ、ゼロマテでやったな…

武内：しかしさあ、やっぱコミケって面白って話なんだよ。

奈須：ですね。この日だけは H P と M P が入れ替わる日。なんていうか、精神力あるかぎり、体力がゼロになんて走っていられる。で、終わると元に戻って、H P 0 状態の自分に愕然とする。そしてまる一日寝込む。

武内：あんたは、はしゃぎすぎだ (^-^) 自分たちの作品かどうかにかかわらず、二次創作から貴う力って馬鹿に出来ない感じ。プラスの螺旋のようだ。

奈須：いいものを作りました。→それを見ていいものを作りました。→それを見て…

武内：うんうん。アニメの空の境界にもそんな力を感じている。今自分たちがここでこうしているのが、まさにその証拠なのかなあと

奈須：ですね。劇場版らっきょがなかったら、未来福音を掘り起こそうなんて思わなかった。この奇跡みたいな流れに、自分もなにか役に立てれば、と思って武内くんの誘いに乗ったんだし。一度立派に花葬したものを蘇らせるネクロマンシー。で、書いてみたらちょっと若返った。

武内：…ですねる？

奈須：ですよね。コミケは時代の流れにそって変貌していくんだろうけど、根底にあるものだけは変わらないでほしい。ただのお祭りなんだよって。気持ち的には神社でやってるぐらいの。

武内：規模が大きくなって、だんだん分かり難くなってきてるけど

奈須：ところで最近のマイブームってある？

武内：来場者みんなが参加者っていう、全員の共通認識がコミケという場所を…

奈須：おれ腹筋。

武内：…

奈須：ごめん 空気 読めなくて

武内：まあいいか。

奈須：そんなことより腹筋の話しようぜ！

武内：まじで…

奈須：あれってメタボに効果あんのかなあ…

武内：どう？腹筋、そろそろ割れてきた？

奈須：3 5回。

武内：…？

奈須：10回しかできなかったのが、今は休みなしで3 5回。ワンセット百も、生きてるうちに夢じゃねーかもだ。齡〇十年にして筋トレに目覚めるきのこ。にわかだけどな！

武内：10回で…そりゃああんた…やっぱいね

奈須：三月の頃の話じゃよ。気晴らしに腹筋やってみたら五回ぐらいでヒーヒーってなあ…そりゃあ家から会社まで歩いて二分ですから！ 一日、下手すると五分しか歩いてませんでしたから！ この三年間が俺の体を未来人にしちまったんだよ！

武内：未来人と来たか

奈須：銀タイツだ ze

武内：まあ鍛えるのは良いことだ。健康は何事にも代え難い

奈須：ってゴメン、もっとこう、武のオタクな話を聞かせてくriやれ？

武内：俺はー…ん…

奈須：ばんつか？

武内：お？いいねえ

奈須：いいんだ！（衝撃に顔をあげる

武内：しかしなんだろうなー。あんま無いナー、ブーム。うーん、未来を深く考えないようにすること？



奈須：そりやブームじゃねーよ。ライフだよ。
武内：ブームではありません、それはライフです。なんかのCMのようだ。
奈須：まとまったく！
武内：マジですか？！
奈須：ああ！俺が原稿終わった後ペルソナ4を三日徹夜ったり、どき魔女2やったりするのもブームやない！ライフなんや！
奈須：仕方ないんや！
武内：うん。原稿終わって無くてもゲームは終わってたりな。しね。
奈須：だーめーかー！
武内：最後は脱線しまくりましたが、とりあえず今後も懲りずにこういう機会を作っていくみたいなあと
奈須：そこは懲りてほしいなあ
武内：次は「ONE」本だ！七瀬LOVE。時間止まってるなあ。
奈須：……すげえな。その乙女の名、久しぶりに聞いた、ぜ……
武内：奈須は二次創作はあんまやらないけど、書いてみたいものとかねーの？



奈須：人様の世界に介入する勇気というか、甲斐性はないというか……
奈須：ぶっちゃけ、そこまで器用じゃないのですね、きっと。
武内：そっか。じゃあ一緒にONE本つくろーぜ！
奈須：聞けよ！
武内：さて、それじゃ夜も更けて参りましたし、このへんでおひらきとしましょうか
奈須：はーい。んじゃ呑龍でとんこつラーメン食ってきまーす
奈須：錦糸町駅前店、よろしく！
武内：うい。お疲れっしゅ。
奈須：お疲れさまっしゅ

※この対談は、チャット形式で収録したログを編集したものです

竹箒

滅安兼三伏
却禪無閉門
心不松竹坡
頭必須竹蔭
火自山房一
涼水廊衲



空の境界 未来雜音

the Garden of sinners / mobius noise

2008.8.16 発行

<http://www.remus.dti.ne.jp/~takeucto/>
info@takebouki.com



THE BAMBOO BROOM 2008 SUMMER

※本書は非売品です。後日、全ページをHPにて公開する予定です。
掲載された内容の一部、および全部の複製は一向に構いませんので、
欲しい方がいればコピーしちゃってください。
ただし、販売などの金銭に変える行為は勘弁してください。ていうか
禁止。いらなかつたら捨ててね。■



THE BAMBOO BROOM 2002 SUMMER